

全国共済水産業協同組合連合会

代表理事会長 福原 正純

3か年計画最終年度に向けて

新年あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、浜の皆様にご挨拶と謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平素よりJF共済に格別のご高配を賜わり、心から厚く御礼申し上げます。

はじめに、2020年より引き続き新型コロナウイルス感染症により様々な影響を受けました全国の漁業関係者ならびに地域住民の皆様に対し、心よりお見舞いを申し上げます。また、地震や豪雨等の自然災害により未だ不自由な暮らしをされています方々へ、一日も早い復旧をお祈りいたします。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響は、海外における感染の再拡大や国際的流通環境の悪化に加え、国内では長期化した緊急事態宣言等により、魚の販売数量の減少、鮮魚市などのイベントの中止など、漁業においても非常に厳しい状況が続き、水産物の需要や価格の回復に向けて先が見えていない状況が続いています。

また、不安定な国際情勢を背景とする世界的な原油価格の高騰に加え、少子高齢化に伴う漁業従事者の減少、気候変動・海洋環境の変化等による不漁は、漁業者やJFにとってますます厳しい環境となっています。

いっぽう、2020年12月に改正施行された漁業法において国は、「水産資源の適切な管理」と「水産業の成長産業化」の2つを両立させる水産改革を実施し、水産日本の復活に向けて大きく舵をきり、この実現に対しての取り組みを始めたところです。

このような中、JF共済は、2020年度を初年度としたJF共済3か年計画「浜の安心を未来へ〜ひろげよう共済の輪〜」において、「JF組合員・世帯構成員および地域住民に対して、JF共済を広く浸透させ、JF共済の輪の拡大」を図るとともに、JF・JF共水連が一体となった共済推進体制の整備、JF共済事業をささえるJF役職員・JF共水連職員の育成、「JF共水連の組合員・世帯構成員・地域住民の保証ニーズに応じた共済制度の開発、JF支援対策の強化およびJF共済の健全性・信頼性の強化」などの主要施策を展開しております。

2022年度は3か年計画の総仕上げの債主年度であります。昨年10月に新しく開発された介護共済を全戸訪問活動の機会を通じて全組合員への案内を行うとともに、保障点検活動と生涯生活保障設計に結び付け、「浜のあんしんサポート運動」を積極的に展開してまいります。これにより各都道府県のJF共済推進本部およびJFと一体になり、共済事業量目標の達成に向けて、取り組んでまいります。

また、JF事務の軽減、共水連業務体制の集約による効率化を目的とする共済事務の改革「業務改



革」と共水連の内部管理態勢の強化など「組織管理改革」を推し進めてまいります。

引き続きご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。